

【実践人材育成】躍動する若手を育てるためのリーダーシップ

～自律的に気づき、考え、決めて、行動する、「自燃(じねん)社員」を育てるための管理職の働きかけ～

1. 趣旨

令和2年度能力開発基本調査によると、能力開発や人材育成に関して何らかの問題があるとする事業所は74.9%と高く、この内訳として、「指導する人材が不足している」(54.9%)、「人材育成を行う時間がない」(49.4%)、「人材を育成しても辞めてしまう」(42.6%)といった理由が上位を占めており、若手社員の育成や職場定着に課題があることが窺えます。

日本人材マネジメント協会(JSHRM)では、労働者を「若手」「ミドル」「シニア」に分けて人材育成モデルの検討を行っており、このうち「若手」については、自律的に気づき、考え、決めて、行動する、「自燃(じねん)社員」が求められるとの提言を示しました。

本セミナーでは上記提言を基にしながら、人材育成担当者のみならず部下を持つ上司が日常取り組むべき部下の能力開発の方法等についてご案内します。

2. 受講で期待される効果

- 自ら考え行動する若手社員を育成するための方法がわかる。
- 人材育成担当者のみならず部下を持つ上司の指導力が向上する。
- 若手社員の職場定着が進み、経営計画に基づく安定的な人的資本管理が可能になる。

3. 開催日時

第1回 令和4年10月25日(火)13:30～17:30

第2回 令和4年12月 1日(木)13:30～17:30

4. 受講対象者及び定員

人事・人材育成担当者 部下を持つ管理・監督者 (定員)各回 40名

5. 受講料

一般:5,000円(税込) / 会員:4,000円(税込)

※会員は、中央職業能力開発協会会員企業・団体所属の方 JSHRM 会員の方

6. 実施方法

オンライン開催(zoom)

7. 主なプログラム

(1)若手の「自燃行動」を促進する

～JSHRM リサーチプロジェクト調査結果及び事例発表～

講師:山崎京子氏、発表者:大橋 歩氏・松橋卓司氏

(2)自燃行動を促進させる職場づくりと上司のリーダーシップ

講師:山崎京子氏

(3)若手社員とのコミュニケーション・スキル

講師:山崎京子氏

8. 講師

山崎 京子 氏（中央職業能力開発協会 CSC スーパーバイザー）

立教大学大学院ビジネスデザイン研究科 特任教授

特定非営利活動法人日本人材マネジメント協会 副理事長

ロイタージャパン、日本ゼネラルモーターズ、エルメスジャパンでの人事実務を経て、アテナ HROD 設立。現在では社会人大学院 MBA で人的資源管理とキャリアデザインの教鞭を執る傍ら、日本企業や外資企業日本人での人事コンサルティングや研修講師、さらに JICA 日本人材開発センタープロジェクトの教科主任としてアジア 7 か国の現地経営者に対して人的資源管理の実務指導を行う。2009 年筑波大学大学院ビジネス科学研究科修了、2019 年神戸大学大学院経営学研究科博士課程修了。博士(経営学)。

大橋 歩 氏

PwC コンサルティング合同会社 ディレクター

東京都立大学大学院理学研究科卒

横浜銀行のシンクタンクである浜銀総合研究所に 15 年に亘って勤務し、中堅・中小企業を対象とする経営コンサルティング業務に、従事し、責任者として、70 社以上を担当。

組織・人事マネジメント、労務管理、働き方改革に加え、経営改善、事業計画策定等、中小企業に対する経営支援全般に強みを持つ。

2010 年以降、中央省庁の委託・補助事業の責任者として、プロジェクトマネジメント業務に従事。2016 年より、当社へ入社し、組織人事・チェンジマネジメント事業部を経て、現在は公共事業部の内閣官房・内閣府アカウントと人材・労働政策チームのリーダーを務める。

松橋 卓司 氏

株式会社メトロール 代表取締役社長

日本大学農学部を卒業後、大手食品メーカーを経て、1998 年、父が創業した高精度工業用センサの専門メーカー「メトロール」に入社。製造業のロボット化・自動化に貢献する「精密位置決めセンサ」は、世界トップクラスシェアを誇る。

間接部門の撤廃や、共感で繋がる「レゾナントリーダーシップ」の導入など、社内組織改革に積極的に取り組み、少数精鋭で利益を上げる「強い会社」を目指している。

賞歴：経済産業省「IT 経営力大賞 経済大臣賞」(2012)、「グローバルニッチトップ、ダイバーシティ 100 選」(2014)、東京都「経営革新優秀賞」(2018)選出。

9. お申込

【受付ページ:URL】

<https://javada-seminar.eventcreate.net/event/5283>

お問い合わせ先

中央職業能力開発協会 キャリア形成支援課

TEL03-6758-2895

E-mail k-kikaku@javada.or.jp